

12年間の取組 (平成29～令和10年度) **教育ビジョン** **地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり**

4年間の取組 (平成29～令和2年度) **3つの重点目標** 12年間の飯田市の教育ビジョンと、教育振興の6つの方針、さらには取組の12の柱を踏まえて、令和3年度から令和6年度までの中期4年間に、重点的かつ組織横断的に取り組む「重点目標」を以下のように掲げます。

重点目標 1 **すべての子どもたちが輝く学校を地域ぐるみで創ります**

アクションプログラム

■ **学力保障・学力の向上**

○中学校区毎に、「飯田市学力向上『結い』プラン」に基づき、全ての教室で「ねらい」「めりはり」「振り返り」のある授業をめざし、授業改善を行ってきました。
△中学校で学力、特に数学が伸びていません。中学校での学びの保障が大きな課題です。

■ **体力・運動能力の向上**

○小学校では、各学校で工夫した「一校一運動」が定着しつつあり、コオディネーショントレーニングにも取り組んできました。
△小・中学校ともに運動能力総合評価において全国値を下回っています。

■ **小中連携・一貫教育の推進**

○中学校区毎に取り組む課題を設定し、課題毎に小中連携して取り組むことを研究しました。キャリア教育に関し全中学校区において9年間のカリキュラムを作成しました。
△取り組みそのものが目的化しており、常に「何をめざしているのか」を共有できるよう、検証・改善が必要です。

■ **不登校対策の推進**

○全中学校に配置した教育支援指導主事を中心に取り組み、人数は増加傾向にあるものの、在籍比は県より低く、全国と同程度に抑えています。
△中学校の新規不登校生徒が増加傾向です。減少するように努め、居場所づくりを考えていく必要があります。

不登校数	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
小学校人数	33人	34人	42人	47人
小学校在籍比	市 0.59%	0.62%	0.76%	0.87%
県 0.48%	0.64%	0.95%	1.11%	
全国 0.47%	0.54%	0.70%	0.83%	
中学校人数	92人	88人	83人	108人
中学校在籍比	市 3.05%	3.02%	2.97%	3.91%
県 2.79%	3.19%	3.84%	4.20%	
全国 3.01%	3.25%	3.65%	3.94%	

■ **飯田コミュニティスクールの推進**

○全ての小中学校28校に学校運営協議会を設置し、協議会の開催数も増加しています。また、コロナ禍において地域からできることの提案もあり、新たな取り組みがはじまりました。
△学校・家庭・地域が「めざす子ども像」実現に向けて、それぞれが当事者として取り組みを深めることが大切です。

学校運営協議会	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
学校運営協議会設置校数	0校	28校	28校	28校
年3回以上の開催	0校	17校	19校	20校

全国学調結果	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
小学校(6年)国語	A◎ B◎	AO BO	AO BO	○
小学校(6年)算数	AO BO	AO BO	AΔ BΔ	○
中学校(3年)国語	A◎ BO	A◎ BO	AO BΔ	Δ
中学校(3年)数学	AO BΔ	AO BΔ	AΔ BΔ	Δ

運動能力総合評価	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
小学生飯田市	38.6%	37.4%	44.6%	36.7%
小学生全国	39.7%	40.7%	41.4%	39.4%
中学生飯田市	42.6%	38.9%	44.9%	40.3%
中学生全国	47.7%	48.5%	50.1%	48.2%

9年間のカリキュラム作成	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
9年間のカリキュラム(キャリア教育)を作成した中学校区	—	—	9校	9校
9年間のカリキュラム(外国語)を作成した中学校区	—	—	—	0校

重点目標 3 **「伊那谷の自然と文化」を守り育み世界につながる価値を創発します**

アクションプログラム

■ **「人形劇まちづくり」の推進**

○人形劇カーニバルから通算40回を開催、人形劇世界フェスティバル及び第7回AVIAMA総会を開催し、小さな世界都市実現に向けた取り組みを行いました。
△人形劇館の入館者数が減少傾向にあります。「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外からの交流人口をさらに増やすことが課題です。

■ **地域資産の保存・継承・活用**

○恒川宮衝遺跡や飯田古墳群が国史跡に指定され、保存活用計画を策定しました。
○菱田春草の常設展の開設や「伊那谷の自然と文化の玄関口」として機能を充実させるため美術博物館開館30周年に合わせリニューアルを行いました。
○名勝天龍峡には、魅力と価値を伝えるガイダンス施設(よって館天龍峡)を開館しました。
△美術博物館をはじめとして入館者数が減少傾向にあります。

重点目標 2 **地域と日本と世界を結ぶ「L G (地域・地球) 飯田教育」を推進します**

アクションプログラム

■ **ICT教育の推進**

○ICTを使用した頻度(ほぼ毎日・週1回以上)の割合が小学校では県、全国より高い状況にありました。
○令和2年度に一人一台の端末を配付しました。
△一人一台端末や教育クラウドを活用した授業づくり、家庭学習の推進、充実が求められています。

■ **ふるさと学習・キャリア教育の推進**

○教育委員会のコーディネートにより、全中学校で職場体験学習を実施しました。
△将来に夢や目標を持っている児童・生徒の割合が減少傾向にあり、かつ全国と比べて低い状況にあります。
△地域に出でるふるさと学習や職場体験学習など体験する学習はできていますが、学ぶ視点が不十分との指摘もあります。

ICTの活用頻度	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
小学生	市 —	—	—	39.7%
県 —	—	—	29.5%	
国 —	—	—	30.6%	
中学生	市 —	—	—	23.4%
県 —	—	—	—	24.8%
国 —	—	—	—	30.6%

将来の夢や目標を持っている	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
小学生	市 84.7%	82.2%	86.3%	82.2%
県 85.4%	85.9%	85.1%	83.5%	
国 85.3%	85.9%	85.1%	83.8%	
中学生	市 72.1%	68.7%	68.5%	66.9%
県 72.0%	72.0%	72.3%	70.2%	
国 71.1%	70.5%	72.4%	70.5%	

地域貢献率	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
小学生	市 —	30.3%	48.2%	55.9%
県 —	41.7%	49.0%	57.0%	
国 —	42.3%	49.9%	54.5%	
中学生	市 —	32.6%	42.2%	40.0%
県 —	35.0%	40.2%	43.9%	
国 —	33.4%	38.7%	39.4%	

自己肯定感(良いところ)	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
小学生	74.0%	78.6%	84.1%	80.4%
中学生	67.5%	68.5%	75.8%	71.7%

■ **高校生対象の地域人教育の推進**

○飯田OIDE長姫高校3年生と地域を結ぶ教育活動の支援をしました。普通科への展開として令和元年度に新設された飯田女子高校進学コースEクラスへの支援を行いました。
△地域での豊かな学びの支援を飯田下伊那地域の高校へ広げていくことが必要です。

	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
人形劇フェスタ参加証の販売数	11,679	11,597	15,236	12,028
飯田で上演した人形劇の観劇者数	17,357	17,455	19,025	17,056
川本人形美術館来館者数	23,041	19,220	18,642	16,567
竹田人形美術館来館者数	3,835	3,615	3,292	3,681

来館者数	基準値		実績値	
	H28	H29	H30	R01
美術博物館	44,277	46,705	42,832	44,442
上郷考古博物館	2,049	2,019	1,851	1,771
天伯・ねぎや	1,262	1,053	1,033	859
遠山郷土館	1,583	1,458	1,349	1,210